

学部・研究科ピックアップ

法学部／法学研究科

先生と話そう

大きな社会不安の中で、新年度がスタートして1カ月が経ちました。新入生の皆さんにとっては、高校や予備校時代とは異なる勉強の内容に戸惑いがあるかもしれません。すべての講義が「今の自分」に直接役立つ訳ではありませんが、従来のものの見方や時に人生そのものを変えるくらい先生に出会うことがあります。通常の講義が始まったら、気になる先生に積極的に話しかけてみてください。顔見知りの先生ができれば、大学生活は充実したものとなります。

(教学主任 池田慎太郎教授)

文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

アカデミックライティングを学ぶ

大学院共通科目として2021年度からいくつか新しい科目が開設される予定ですが、今年度は試験的に、文学研究科において「アカデミックライティング」が開講されています。

この講義では、複数の教員がリレー形式で、学術的な論文執筆に役立つさまざまな技法を教授します。情報収集やクリティカルリーディング、研究課題の設定や論理的思考、ピアレビューやポスターセッションにいたるまで、幅広いスキルを身に付けて、研究遂行能力を高めましょう。

(教学主任 宮本要太郎教授)

経済学部／経済学研究科

経済学部生だけが参加できる留学制度



経済学部では短期留学(GoLD)プログラムを実施しています。本プログラムは、語学力向上に加え、現地経済を学ぶ、企業を訪問するなどの特徴があります。海外経験の始めの一歩としてぜひご利用ください。なお新型コロナウイルスの影響で、現時点では開催国や日程は未定です。興味のある方は経商オフィスまでお気軽にお尋ねください。

(古賀敦久教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部／商学研究科

商学研究科にGRプログラムを導入

商学研究科では、2021年度よりグローバル・リテイリング・プログラム(GRプログラム)を導入します。小売業によるプライベート・ブランドの浸透率が日本でも高くなり、また、GAFANAなどのプラットフォーム・ビジネスが世界的に急成長するなか、小売業をとりまく競争環境は大きく変化しています。このような小売業が直面する課題について、理論と実務の両面からアプローチし、アジアの流通最前線で活躍する人材を育成します。

詳しくは、商学研究科ウェブサイトをご覧ください。(副学部長 藤岡里圭教授)

社会学部／社会学研究科

ギャラリーゾーンをご存じですか？

社会学部は第3学舎2階に「ギャラリーゾーン」を設置しており、学生たちの研究成果や、社会学部に関連する過去の資料を展示しています。本年5月から8月までは、1984年に行われた関大商店街についての社会調査実習「関大前ストリート研究：20年の歩みといま」の記録をもとに、当時の店舗の分布地図や写真を、現在の様子や学生の観察と合わせて展示します。第3学舎にお立ち寄りの際は、35年+20年にわたる関大前とそこに息づく学生たちの生活の変遷をぜひご覧ください。

(大門信也准教授)

専門職大学院トピックス

法科大学院

無料法律相談を2020年度も実施

法科大学院では、2004年の創立時より社会貢献につながる授業の一環として、市民の皆さまを対象に、無料法律相談を実施しています。2019年度はウェブサイトの他、近隣自治体にチラシの置き配布を依頼し、年間相談件数は37件と、多くの相談がありました。

法律相談では、弁護士資格を有する実務家教員と、守秘義務を課された法科大学院生が協働し、法律に基づき問題解決に向けての具体的助言を行うことで、市民に寄り添うことができる実務感覚に優れた法律家の養成を目指しています。

詳細については、こちらからご確認ください。

(尾島史賢教授)



併設校トピックス

関西大学初等部

第10回初等部研究発表会を開催



2月1日、第10回目となる初等部研究発表会を開催しました。初等部は開校以来、「思考力育成」を柱

に研究を進め、今年は、この思考力育成を支える「主体的学びを引き出す授業デザイン」を探究し、全国津々浦々から集った関係者に問い、多くの示唆もいただくことができました。

(教頭 田淵良二教諭)

政策創造学部／ガバナンス研究科

ワイカト大学英語研修の開催

11回目を数える国立ワイカト大学での英語研修が開催されました。学生たちは、ニュージーランド航空トレーニングセンター



におけるインターンシップや環境問題についての専門講義など、語学+αの貴重な体験を積み、今後の学習への高いモチベーションを持って帰国しました。

(三枝憲太郎准教授)

外国語学部／外国語教育学研究科

米国エモリー大学で日本語教育

外国語教育学研究科は米国ジョージア州アトランタにある名門校・エモリー大学のロシア・東アジア研究科と協定を結んでおり、本研究科の修士生および博士課程在学学生を日本語のティーチングフェローとして派遣しています。選考を経てフェローとなった皆さんは、米国の大学での教歴を得ることができます。さらに、エモリー大から年間30,000ドルが支給されるほか、ビザの手続きなど、さまざまなアシストを受けることができます。今年もたくさんの応募があることを楽しみにしています。

(阿南順子教授)

人間健康学部／人間健康研究科

生き方としてのマインドフルネス

現在流行しているマインドフルネスを、心理的技法としてではなく、生き方として捉え、学び、考えていくワークショップ講座を、堺市との地域連携事業として開催しています。

マインドフルネスとは「意図的に、今の瞬間に、評価・判断をすることなしに、注意を向けることで現れる気づき」とされます。僧侶、心理臨床家、ボディワーカー、アーティスト、武術家、さまざまなジャンルの講師を招聘し、マインドフルネスを体験的に学び、参加者自身の生き方とつなげて考えていく講座となっています。

(小室弘毅准教授)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

平和な5月であることを祈りつつ

これを書いている3月前半現在、世の中は新型コロナウイルスの話題一色です。私のもとにも、参加予定だった学会・研究集会の中止・延期の知らせが、続けて届きました。同じ経験をした大学院生の人も多いでしょう。これが印刷されて皆さんの手元に届く頃には、平和な日常に戻っていることを願ってやみません。

新入生の場合、入試の大半が行われた2月前半はそれ程でもなく、合格発表のしばらく後から世の中が騒然となり始め・・・というタイミングだったかと思えます。2年次生以上の場合、今年

の春休みは、予定していた旅行を中止して静かに過ごした人も多いでしょう。若い時の経験は一生の宝物ですので、見聞を広げる機会を失ったことは残念ですが、反面、自分自身を見つめ直す良い機会になった面もあるかと思えます。

やがて世の中が落ち着いた後は、関大生らしくアクティブに過ごしてください。ただ、その前に定期試験が待っています。新入生の皆さんは、ガイダンス等で何度も聞かされたことと思いますが、もう一度言います。大学は、所定の単位数を取得しないと卒業研究を開始できませんし、従って

卒業もできません。もちろん、自然と興味が持って自主的に勉強したくなる講義も多いでしょうが、そうでない必修科目があるかも知れません。世の中は、この20年間でさまざまなことが厳格になりましたが、大学の講義の単位もその一つで、皆さんの親御さんの時代より、厳しくなった面が多いです(たとえば、出欠の扱い)。上の世代の人から「1・2年次生の内は単位を心配しなくて良いよ」等と言われても、うのみにするのは危険です。油断せずしっかり、勉強してください。

(システム理工学部 柳川浩二教授)

Attention 大学からの重要なお知らせ

学長選挙を公示 学生の除斥投票は6月8日(月)～10日(水)

関西大学の現学長である文学部・芝井敬司教授の4年の任期がこの9月で満了となります。そこで、4月1日付で「学長選挙の実施のお知らせについて」が、学長、13学部長、法務研究科長、会計研究科長および心理学研究科心理臨床学専攻長の連名で公表されました。また、同日付の公示第1号では学長選挙の実施について、公示第2号では学長選挙の日程、公示第3号では学長選挙立候補の受付についてそれぞれ公示されています。学長選挙にかかる公示については、全てインフォメーションシステムを通じて行われます。今回の学長選挙方式については、前回の学長選挙と同様で立候補制となります。学生の皆さんは、除斥投票という形で学長選挙に参加することになります。除斥投票については、5月21日(木)付の公示で詳細を案内しますので、内容を確認の上、投票に参加してください。

※日程等が変更になる場合は、インフォメーションシステム「お知らせ」にて周知します。
※なお、学長選挙によって選出された新学長については、本誌の10月号(第485号)で紹介する予定です。

【除斥投票について】

日時	2020年6月8日(月)～10日(水) 10:00～16:30
場所	所属する学部、研究科のキャンパスの投票所で投票してください。
除斥投票結果	6月18日(木)付公示にてお知らせします。